

ごみ収集ポイント、本当にすべて把握できていますか？

GPSを載せて走るだけ。
ごみステーションを自動で推測します。



GPS端末を載せて走るだけ

GPS端末を収集車に置くだけで
特別な操作は一切不要



1.5km/hで自動記録

1.5km/h以下になると、
自動で位置情報を記録



精度
90%

約1カ月後地図が完成

走行データからごみステーション
地図が自動完成

地図作成の流れ

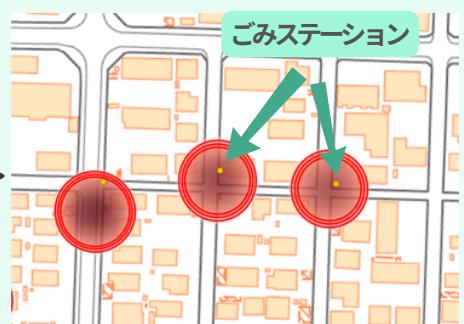
STEP 1



STEP 2



STEP 3



まず収集車の移動履歴を記録します。収集車に搭載したGPS端末が、『いつ、どこを、どんな速度で走行したか』という移動履歴を正確に記録します。

移動履歴データから、収集作業中とみられる時速1.5km以下の走行地点を特定し、その周囲半径20mの範囲を可視化します。

抽出したエリア内にごみステーションがあるかを照合します。これにより、収集車が実際に利用しているごみステーションを正確に特定できます。

\ 業務の「見える化」を広げる +α の活用 /

手動ボタンによる任意地点登録



基本の自動記録に加え、手動でボタンを押すことで、その地点の位置情報を任意に登録することができます。

活用例

- ・街路灯、カーブミラー、電信柱の現況記録
- ・不法投棄、違反ごみの位置記録
- ・道路の危険箇所（破損等）の報告

収集業務の「見える化」

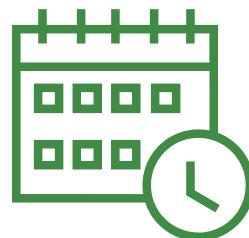
ごみの収集量がわかる



収集車のごみステーション周辺での位置情報から作業(収集状況・収集時間・収集量)情報を検出します。

収集作業時間を算出し、ごみステーション毎のごみ収集量を算出します。

ごみの収集履歴がわかる



車両の走行軌跡に基づき、「いつ・どこを」通過・収集したかを全自動で記録します。管理者はリアルタイムで進捗を確認でき、収集漏れの防止にもつながります。



Clean Collect



お問い合わせ

NJK

株式
会社

New Japan Knowledge
ニュージャパンナレッジ

〒753-0214 山口市大内御堀3777番地の2



083-941-0300
(平日9:00~18:00)



system_sales@njkcorp.co.jp